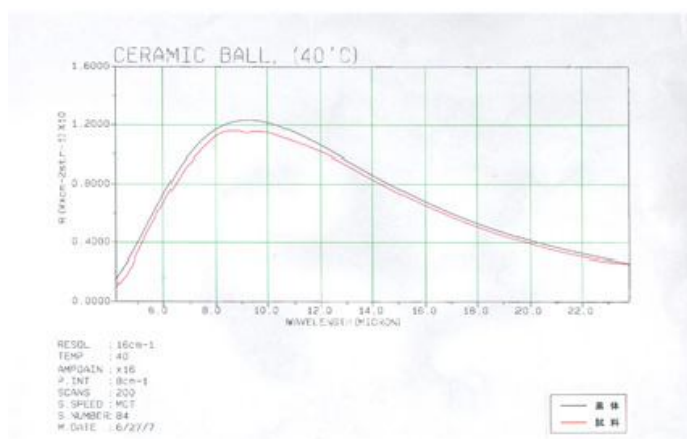
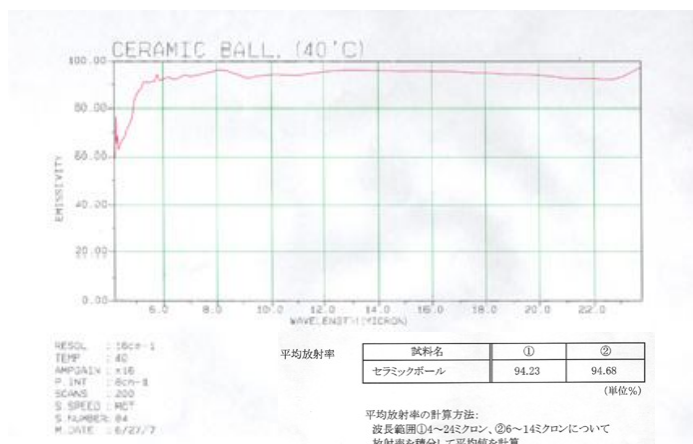
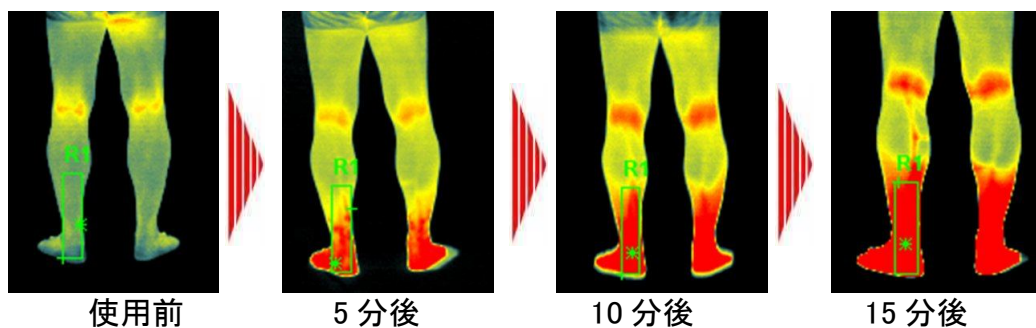


セラミックス データ

遠赤外線放射率積算グラフ



足癒用セラミックスの温熱効果試験



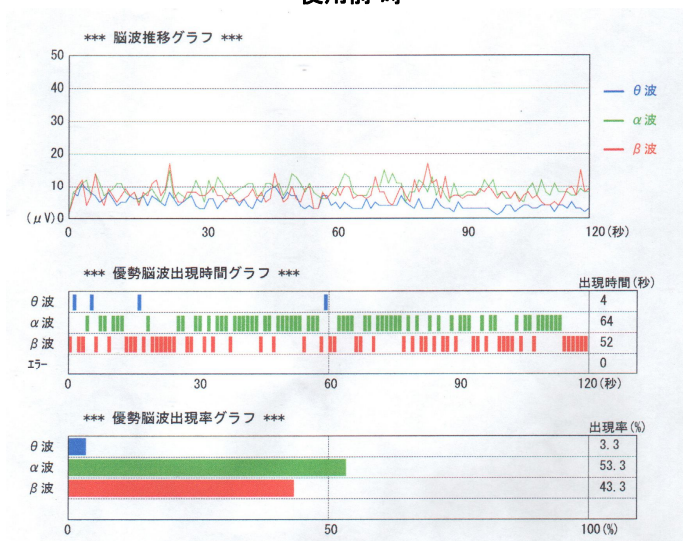
足癒用セラミックス使用による足部の温度上昇 (°C)		
経過	温度	血行美人セラミックス
使用前	平均温度	31.7
	最高温度	32.5
	最低温度	30.2
使用 5 分後	平均温度	34.7
	最高温度	37.5
	最低温度	31.3
使用 10 分後	平均温度	35.7
	最高温度	38.1
	最低温度	32.3
使用 15 分後	平均温度	37.9
	最高温度	39.8
	最低温度	34.3

温熱効果試験結果

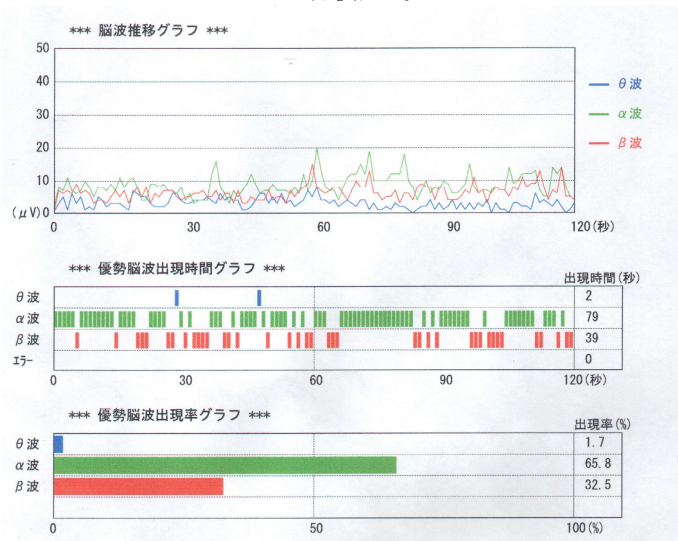
温度分布画像より求めた足部の皮膚表面温度を最右側の表に示す。
足癒用セラミックス使用 5 分後では平均温度で 3.0°C 上昇した。また、10 分後では 4.0°C 上昇し、15 分後では 6.2°C 上昇した。従って、足癒用セラミックスを使用することで、明らかに足部に対する温熱効果が高いと言える。

脳波推移グラフ

使用前 時



10 分使用 時



脳波測定結果

θ(シータ)波 4~8Hz 未満 とろとろと眠くなって来た時に現れる。α(アルファ)波 8~13Hz 未満 脳の休めている部位に現れる波である。β(ベータ)波 13~40Hz 未満 覚醒状態・精神活動している部位に現れる。
試料のα(アルファ)波β(ベータ)波θ(シータ)波の出現の変化を見ると、使用前時はα波 53.3%、β波 43.3%、θ波 3.3%である。10 分使用時の場合α波 65.8%、β波 32.5%、θ波 1.7%であった。
10 分使用時の方がα波 12.5%増加しβ波 10.8%減少したことから、短時間でリラックス状態に入っている事が分かります。